



前橋 Maebashi

ハレルヤブックセンター

たよ

発行▶前橋ハレルヤブックセンター支援委員会
住所▶☎ 371-0016 群馬県前橋市城東町2丁目5-3
電話▶027-212-8505 FAX▶027-212-8508
E-mail▶hallelujah2019@gmail.com ホームページ▶<http://maebashi-hallelujah.net/>

vol.7 2022年2月



主は生きておられる

私たちのために、ただ一度十字架にかかり、ただ一度復活され、今も生きてとりなし、また私たちとともに生きておられる主イエス・キリストの聖名をほめたたえます。

巻頭のみ言葉は旧約の預言者エリシャの言葉ですが、受難週とイースターの季節は、そのことをとりわけ深く思い、「主は生きておられる」と心の中で繰り返し思いめぐらします。いつもそのことを思っていられれば良いのですが、私などは、つい目の前のことに追われ、その実感を見失いがちです。

今からもう40年も前、新潟市のキリスト教書店で働いていた時、「主は生きておられる」と確信する貴重な体験をしました。雪の降る寒い日に、一人の中年男性が書店に現われ、「キリストなら金ぐらい貸せ」と居座ったことがありました。牧師先

私が仕えている
万軍の主は
生きておられます。

列王記第二3章14節



生から常々「くり返しになるからお金は貸さないように」と言われていたので断ると、その人は激怒してそばにあった沸騰したやかんを持ち上げて脅してきました。恐ろしかったのですが、なぜかその時の私の心には「主は生きておられる」とのみ声が聞こえ、主の助けを祈り続けました。

お金を渡すのもやむなしか…と思った矢先、お店の戸がガラッと開いて、たまに来店してくださるお客さん(筋骨たくましい漁師さん)が、赤銅色に日焼けした顔をニコッとさせて「こんにちは」と現れたのです。その瞬間、先ほどの男性は無言で去っていきました。「主は生きておられる！」と私は心の中で大きく叫びました。

高崎福音キリスト教会 担任教師
坂本美恵子



～ 暮らしの中にみことばを♪ ～

『オリジナルみことばフレーム』

手作りワークショップを開催します。



◆
自分で選んだみことばと天然素材のかざりを組み合わせてみことばフレームを作ります。
◆
ご自分用またプレゼントにもいかがですか？
◆

4月19日(火)・20日(水)

午前の部 10:00～11:30
午後の部 13:00～14:30

<会場>

前橋ハレルヤブックセンター

<参加費・定員>

1000円(材料費含む)

定員：各回5名

◆
※当店までお電話かメールでお申込みください。
※お申込みの際には、ご希望の「みことば」をお知らせください。

感謝 3周年感謝
抽選会

5月開催予定!!

おかげさまで、来たる5月で開店3周年を迎えます。

このコロナ禍において書店を開き続けることができたこと、心より感謝申し上げます。

5月には毎年恒例のガチャポンによる『感謝抽選会』を開催予定しております。

詳しくは、またご案内申し上げます。お楽しみに!



十字架への道ゆき

— 受難週（レント）特集 —

イースターを迎えるにあたって、キリストの受難に想いを寄せる受難節（レント）の過ごし方は、今日キリスト教会の中では様々なようです。しかし、主イエス・キリストが、私たちのために十字架への道を行ってください、私たちのために苦しみを受けて、ご自分の命まで献げてくださったことをおぼえる機会というのは共通の思いのようです。神の御声を聴く時であり、キリスト者としてどのように生きてらよいか、神の御心を知る機会とする方も多いようです。「静まって、わたしこそ神であることを知れ」（詩編 46:11）この時季を歩むのに、こんな本を「道ゆき」にしてはいかがでしょうか？



『十字架への道 — 受難節の黙想と祈り —』

小泉健 著
(日本キリスト教団出版局) 1,320 円

受難節 40 日を見こばと祈りへの旅へと導き、**主の苦しみが「この私」のためであった**ことを覚えて過ごす一冊。日常の些事に追われてしまう方にも最適です。



『オカリナ牧師の 聖書ゆるり散歩』

久保木聡著
イラスト：みなみななみ
(いのちのことば社) 1,320 円

レビューには**“力を抜いてただ神様の恵みに浸れるような本”**とあります。疲れちゃったなという時も、そばにイエスさまを感じながら聖書を味わいゆるりと言葉の散歩するエッセイ集。



『グレイスノート 366日』

フィリップ・ヤンシー著
山下章子訳
(いのちのことば社) 3,630 円

翻訳者によれば“信仰者の内側で起きている事件を出発点としてみこばに向かう”本書。受難節だけにとどまらず、きっと簡単ではない**この一年を恵みの発見現場にする**道ゆきにぜひこの一冊。



『『主の祈り』を生きる コロナ禍で浮き彫りになった 課題とともに』

赤坂泉著
(いのちのことば社) 880 円

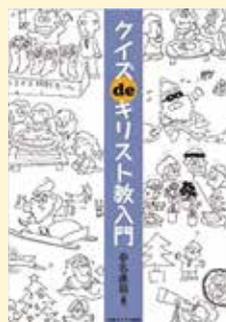
集まらない礼拝、控えられた賛美や聖餐式…コロナ禍、教会に突きつけられた現実の中で、よく親しんできた「主の祈り」を改めて心にとめ**主に整えられていく**。奥多摩福音の家 WEB セミナーをもとに刊行。



『よくわかるキリスト教の暦』

今橋朗著
(キリスト新聞社) 1,320 円

そもそも受難節って何？ そのルーツは？ 他のキリスト教の暦についても、やさしく詳しく解説。教会暦は信仰生活のリズムを助けます。子どもたちとも一緒に考えることができる本です。



『クイズ de キリスト教入門』

春名康範著
(日本キリスト教団出版局) 2,420 円

12月26日はなんの日？ 神様は時速何キロ？ **はじめてキリスト教に触れる人から信仰のベテランまで、楽しく学べるクイズ形式のキリスト教入門書**です。『マンガ de キリスト教入門』もあります。

イースター関連グッズも 順次とりそろえて参ります



コロナ禍の衛生対応！ 聖餐式個別セット 10 個入 訪問・リトリートの携帯用にも！ 385 円 (税込)

聖餐式用の 100% ブドウジュース (5ml) とウエハースが、一人分ずつ梱包されたパックです。衛生的であり、持ち運びにも便利です。賞味期限は約 1 年。常温で保存していただけます。



内側のプラスチックのふたをはがすとブドウジュースが入っており、そのまま飲めるようになっています。

外側の薄いフィルムをはがすと、ウエハース「パン」が入っています。

これから書店が 歩む道

～神の国がここにも～

これからの書店のあり方、存在理由を模索中の私たちですが、お客様とのやり取りの中で、思い起こされることがありました。それは、どんな状況の中にあっても「この書店を通して神の国の交わりがなされていくように」ということです。書店とお客様、お客様と本、お客様が本をお渡しする方、その一つ一つの出会い・交わりが神の国の交わりとなっていくようにと願います。そんなことを思わせていただいたお客様の声をご紹介します。



『様々な人々の証との 出会いの場』

(前橋在住 E・T さん)

私は新前橋駅から歩いて10分ほどのところにある教会の教会員です。

ハレルヤブックセンターには10日に一度くらいのペースで通っています。お店の奥には古本のスペースもあり、多岐に渡ってたくさんの本が置かれています。たまたま手に取った本の中に、最近自分が疑問に考えていたことに対するヒントのようなことが書かれていたり、また、“神様の働きのおかげでこのように人生が良い方向に開かれました…”というような証の内容もたくさんあり、立ち読みしているだけで励まされることがあります。

お店のBGMはステキな讃美歌が流れています。また、昔お世話になった牧師先生ともばったり再会できたりと、大切な信仰の友との出会いの場にもなっています。私にとってハレルヤブックセンターは、神様の恵みと働きに満ちた素晴らしい憩いの場所となっています。



『お客様とこんなふれあい』

(福島店長『業務日誌』から)

ある日、横浜のある方から電話が掛かって来ました。初めての方です。本の問い合わせでした。

ただ本があるかないかだけではなく、その本はどんな内容なのかというご質問でした。書店長として、どのくらい書店にある本について知っているのかと試された思いでしたが、できる限りのお答えをさせて頂きました。そしていろいろお話をさせて頂いたあとで、何冊か本をご注文してくださいました。

私は、横浜ならば近くにもっと大きなキリスト教書店があり、大手の通販もあるのに何故こんな小さな書店にお電話をくださったのか、お訊ねしてみました。そのお客様は、今私と交わしたお喋りを通して、本のことを知りたかったとおっしゃいました。

前橋ハレルヤのような小さな書店だからこそ、おひとりおひとりのお客様に満足いただけるような対応ができ、またそのような存在になることが、これからこの書店の有るべき姿なのかと、勇気を頂きました。

お客様と書店との新しいふれあいご提案

オンライン文書伝道デー 『ぶんでん』開催協力をお願いします



現在、コロナ感染拡大によって、群馬でも対面販売や集会販売が難しくなっており、書店への来客も自粛している傾向が強くなっております。

そんな中、オンライン上でもなにか良い商品、良い証、良い働きを届けられないかと祈り考え、いのちのことば社とタイアップし、前橋ハレルヤブックセンターのニュースや商品紹介をYouTube動画で流せることとなりました。只今動画の準備中です。教会の礼拝後の報告の中で動画を流していただくことにより、オンラインでの『文書伝道デー』（「ぶんでん」）開催が可能となります。5分でもかまいません。月に一度前橋ハレルヤブックセンターにご支援の時間をいただけますと幸いです。



右のQRコードから『ぶんでん』紹介動画をご覧いただけます。



vol.7 おすすめの本、 教えてください。

「スピリチュアルケアと教会」

(いのちのことは社) 1,650円税込
窪寺俊之 (著)



この本を昨年夏ごろ、前橋ハレルヤブックセンターで見つけた時、思わず衝動買いし、無我夢中になって2~3日で読み切ってしまいました。それから、二、三度通読し、また折りにふれ、大事と思うところを何度も読み続けています。

今回このブックレビューを書いて気づいたことがあります。それは、

この本はキリスト教界において、牧師や信徒むけに書かれているものの、そこを遥かに突き抜けて、すべての人々にとって何よりも大切なことが書かれているということです。そのことを、この本を繰り返し読むたびに、ビビビッと敏感に感じています。

著者の窪寺俊之先生は、ご自分の病院におけるチャプレンでのご経験や、自分自身が人生で悩み苦しんできたことを通して、全人的な関わりとスピリチュアルケアの大切さを説いておられます。それは、それぞれの馳せ場で精一杯の人生を生きているすべての人のすべての領域において、何よりも大切に最も必要とされていることです。

肉体の命の危機以上に、霊的な命の危機の時代を生きる私たちです。「もしかしたら誰もが追い詰められ、紙一重の状況にあるのかもしれない」(俳優山崎努氏) そんな時代を生きる多くの人々が、この本を通して、それぞれのかけがえのない人生を最期まで健やかに生きる、たしかな指針と希望を受け取っていただきたい、そのことを切に祈り願っています。

(桐生教会 牧師 長谷川直紀)

古書の献品 受け付けています

※キリスト教書やCD,DVDの献本・献品を受け付けています。
※買取りではございませんので、ご了承ください。

「前橋で福音を届けたい」
そんな献身の思いを持った方、
本屋さんと一緒に働きませんか。

**正職員
募集中!**

召命 × 書店のお仕事

業務内容	契約内容
<ul style="list-style-type: none"> 7:30~8:30 雑誌・教書などの在庫管理 定時後始末 朝刊配達(午前5時~6時) 書籍・CD/DVDの在庫管理 お客様対応(接客・レジ) 	<ul style="list-style-type: none"> 業務時間 正職員(週給) 月給(賞与あり) 勤務時間 月371-0016 勤務場所 群馬県前橋市城東町2-5-3 TEL: 027-212-8505 FAX: 027-212-8508 Mail: hallelu2019@gmail.com

お問合せ先 **080-8107-0056 (福島)**

支援委員会加入のお願い

前橋ハレルヤブックセンターは支援委員会により 運営が支えられています。支援委員会に加入していただける教会・法人・企業・学校・施設等ございましたら、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。詳細につきましては、当店までお問合せください。



<編集後記> 受難節を想う本の紹介文、気付けば「疲れてる」「困難」が前提に。コロナウイルス蔓延長期化&拡大で当然か? 「疲れた」「こわい」と言いながらも、私たちはイエス様の十字架に身をよせ、よりかかり、「主は生きておられる!」と賛美できる。希望をいただいた巻頭言に感謝。(S.Y)



前橋ハレルヤブックセンター

〒371-0016 群馬県前橋市城東町2丁目5-3

TEL 027-212-8505 FAX 8508



営業時間 11:00 ~ 17:00

休業日: 水曜・日曜・祝日